

皆さん新年明けましておめでとうございます。

令和6年の仕事始め式に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

始めに、松本正治議長、池田稔巳副議長、並びに議員各位におかれましては、新年早々のお忙しい中にも拘わりませずご臨席をいただき、職員に対しご激励を賜わりますこと誠に有り難く厚く御礼を申し上げます。

どうか本年も引き続きご指導を賜わりますようお願い申し上げます。

皆さんご承知の通り、元日の午後、北陸地方において大規模な地震が発生し、多くの犠牲者がでました。また翌日には、羽田空港で飛行機の衝突事故が発生し、ここでも海上保安庁職員5名が殉職されました。それぞれお亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災地の皆様にお見舞いを申し上げます。今後、県知事会を通して具体的な支援の要請などが来ることとなると思いますが、一刻も早い復旧復興をお祈りしたいと思います。

改めて職員の皆さん方には、それぞれに新春の幕開けを新たな決意をもってお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

今年の干支は「辰年」です。龍は空想上の生き物ではありますが、水の化身として、また万物の能力や勢いをすべて身に着けた隆盛の象徴であるともされており、その勢いのままに今年は、飛躍発展の一年となるよう、希望と期待に満ち溢れたスタートを切りたいところですが、一呼吸おいて、気を引き締めてまいりたいと思います。

昨年末の仕事納め式で私は、市内における数々の実績やチャンスなどの事例を挙げ、市民の皆様や職員各位の努力を高く評価させていただきました。しかしながらその一方で、国内全般を振り返りますと、「不祥事」という文字が数多く見られたことも事実であります。

まず初めに想起されるのが、国会議員の収支報告書の不記載問題に始まる政治不信、それからあえて固有名詞を出しますが、日本大学アメリカンフットボール部内での大麻所持事件、大手自動車メーカーダイハツの安全性能虚偽報告事件、中古車販売大手ビッグモーターの保険不正請求事件、さらに行政現場においても福岡県宮若市の市長によるパワハラ事案、宮崎県都城市、佐賀県みやき市、本県でも諫早市などで指摘されたふるさと納税返礼品の産地偽装問題、またお隣松浦市では離島診療所における診療報酬不正請求問題など、これら全てが組織のガバナンスのあり方として問題視され、謝罪会見がテレビなどメディアで連日のように報道されていきました。

実はこうしたことは、私たちの身の周りでも容易に起こりうることとして常に緊張感をもって仕事に臨まなければなりません。これらに共通する全ての原因は、「この程度なら大丈夫」「任せておけば、細かいことは気にしなくていい」「信頼関係があれば、全てオッケー」などの言葉に表されるような「根拠なき放任」という無責任体質から起こっています。

とはいっても、些細なことまでいちいち目くばせをし、疑心暗鬼になるべきということではありません。要するに、これまでやってきた仕事や業務について、常に冷静かつ客観的に見つめなおし、この状況のままでいいのかという自己反省と現状分析が必要であると思います。

私たちの業務を振り返っても、数々の失念事案や過失が散見されますし、懲戒処分の対象となったケースも少なくありません。人間は残念ながら、相互に誤解しやすいものであり、必ず失敗をする生き物です。ですから、そのことを踏まえて、補い合い、助け合い、励まし合うチームの総合力が必要となるのではないのでしょうか。

龍は架空の動物ですが、洋の東西を問わずその姿は、雄々しく圧倒的で観る者に恐怖感さえ与える描写で表現されています。その体にはいくつもの爪や髭、鱗が見られますが、この龍に例えると私たち一人ひとりの存在は、髭の一本であり、鱗の一枚に過ぎないかもしれません。でもその一つ一つが相互に連携し、つながり合い、全体を構成する生命体として、周りの底知れぬパワーを吸収しながら、目指すべき方向に突き進むことで、昇り龍の威厳と勢いが蓄えられるのではないかと確信します。

仕事納め式で申し上げましたように、昨年までに積み上げてきた様々な分野における数多くの実績と、今後の飛躍発展に向けた息吹を、本年さらに大きく伸展させ、枝葉を広げ、実を結び、期待以上の成果が得られますよう、ともに頑張ってください。

結びになりますが、本年が平戸市民の皆様にとって、素晴らしい年になりますことと、議長はじめ議員各位の益々のご健勝、併せて職員各位の更なるご奮闘を期待申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

終わります。